

2期生同窓会：35年ぶりの再会

71T423 鈴木眞之

1. 来ちゃったよー

去る10月16日にわが佐賀大学理工学部土木工学科2期生の同窓会が佐賀市の旅館「杉乃家」でありました。なんと35年ぶりの再会！！！

東京から、大阪から、四国から、佐賀を目指してやってきました。先生方を入れて総勢24人が集まりました。

2. あんただれ？

頭が薄くなった人、白髪になった人、身体が2倍くらいに膨れた人、「えーっと、あんただれ？」とお互いに言い合ってしまうような変貌ぶりに笑いが耐えませんでした。

私は、東京から朝一番の飛行機で福岡空港に着き、博多で電車に乗り換えて佐賀を目指しました。「いやー！変わったなあ！」と一言。どこに行ったらいいのか解らず、おまわりさんに聞きました。「佐賀大学はどっちですか？歩いたらどれくらいでしたかね？」・・・・

途中で松原神社、佐賀神社にお参りしながら、昔のみ歩いたアーケードはどこだ？・・・「ない、ない、おかしい！どこだったけなあ？」と探し回り、玉屋を見て「こんなにさびれてたかなあ！」と。県庁をみて「あっ！何となく記憶にある・・」なんて思いながら、歩く！歩く！お堀端だ！「アベック遊歩道？ってあったよなあ！」・・と呟きながら、思いながら大学の交差点にきた。「道路が広くてどうなってんの？」「えーっ！変わったなあ！」とまた一言。守衛さんに「今日は食堂やつますか？」と聞くと「やつますよ」と快い返事。さっそく校内を歩いていると、同級生の堂元君にバッタリ！「いよいよ久しぶり」とお互い発して、二人で食堂へ。その昔、『不知火寮』があった所に食堂を見つけて二人で中へ。当時（昭和46－50年）はカレーが80円だったよなあ！と言いながら、カレーを頼むと230円？だったと思うけど、「やはり安い！」とお互い懐かしさと嬉しさで感無量！「相変わらず旨かった！」

昼飯を食べたら土木工学科の校舎へ向かいました。「えーっマジかよ！改修工事中でシートが張ってあって見る事ができず、残念！お互いガックリ」・・・

次は下宿（間借り）を探すため、堂元君と別行動。感を頼りに探しましたが、跡形も無くなくなつておらず、別な建物が建っていました！「寂しー！」と一言。歩き疲れて駅まで戻り、みんなを待つ。その前にまずは喉を潤すため、先ずは生ビール一杯！「旨いっ！」と一言。

岡田君、久保（晶紀）君、門畠君、渡邊君と続々現れた。「懐かしいなあ！」の一言。みんな見かけは元気そうでなによりだ。但し、後で聞くとみんな病気持ちで手術経験者や治療中のばかりだった。「人生色々だが、還暦間近になると色々な経験をしてるなあ！」と、またまた感無量。

みんなが揃ったところで、バスで旅館へ直行！着くなり「風呂だ！風呂だ！風

呂だ！」と大浴場へ直行！

3. 宴会だー！

宴会の時間が来た！

その前に「ワルツ サチコ&テツ」だったかなあ？荒川君の大世話（おいおい）でご馳走を前におあづけ！！！「おーい！犬じやないんだから・・・」

しかし、二人の歌声は美しく、透きとおるような声はすばらしかった！綺麗で上手く、みんな感激？（だったかな？ご馳走を前に・・・）

やっと乾杯の音頭・・・「宴会だー！」歓談・歓談・歓談・・・（写真パチパチ）鬼塚先生、荒牧先生、渡邊先生、岩尾先生、古賀さん・・・皆さん元気ですばらしい！（ただ、渡邊訓甫先生の変貌振りに、みんなは開いた口が塞がらない～！はつきり言って「変わった！」）「先生方、色々とお世話になりました！」

わが同級生の清田君は佐賀大学の教授になってるし、松田君は山口大学の副学長に大出世！「すごっ！」と一言。

宴会の途中で渡邊君がいつもの余興で素っ裸に！昔と変わらない姿に、皆一安心した。昔の話に花が咲いて、宴会はなかなか終わらず。「幹事の大塚君も大変だったね。お疲れ様！（でも次回もよろしくと内心では・・・）」

宴会は終わったが、2次会へ・・・

焼酎・焼酎・焼酎・・・つまみなしでよくも続いたね！24時を回ってもやっていたかなあ？小生はたまらず部屋へ戻って就寝（のふり？）・・・

しかし、同部屋の3人は寝ることを許してくれず、2次会終了後部屋でまた飲み会！・・・よく飲むものだ！飲めるものだ！と感心するばかり。

「梅崎、高木、堂元はすごっ！」と一言。

普段は、発注者（役所）と受注者（民間業者）に分かれていても、同窓会では「おい高木！」「なんだよ梅崎！」「役所は人が多すぎるぞー！」・・・なんて思ったことを、普段感じてることをストレートに言い合っても、それが許される世界はいいもんだ！35年の月日が一瞬のうちに縮まってしまう。同級生とはいいいもんだ！

4. 一応さいなら・・

翌日は「もう一度やりたいね！」「早い時期にやりたいね！幹事よろしく～！」とお互い言いながら、それぞれ帰って行った。明日からはまた、通常業務の仕事が待ってる。みんなありがとう！次まで元気で「生きてて」よー！すばらしい仲間達よ！また逢える日まで・・・

本当にすばらしい一日でした。私は、もう一日泊って、門畠君と二人で昔話をしながら、酒を酌み交わしながら、夜の佐賀を満喫しました。

「みんなありがとう！（涙、涙、涙・・・）」次回もよろしく大幹事さん達～

—おわり—